

代表 はまうら佳子

〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX.072-977-8782



かしわら見張り番

9.30
no.13

市議会定例会速報

市民本位の論議せよ!

岡本市長 暴言癖は相変わらず

九月二十二日、柏原市議会で市民の会・浜浦佳子議員が代表質問。談合事件で一審有罪の中司氏を採用した責任を論じたところ、岡本市長は感情的になり「あんたより、どれほど役に立っているか」と威圧。相変わらずの暴言が目立った。

柏原市議会を傍聴した市民が誰しも驚くのは、岡本市長の威圧的態度や暴言の多さ。本紙へも「岡本市長の品格のなさは、柏原市民として恥ずかしい」などの声が多く寄せられている。

この議会でも岡本市長の発言は、相変わらず。市民本

八月初旬、市民が参加して市政を考える集まりが開かれた。

静かに会が進行している途中、「そんなん、どうでもいいんや!」と叫ぶ声に参加者は驚いた。「大泉の住民として発言する」と言う声の主は、「柏原新聞」オーナーのU氏

「かしわら見張り番」および発行人の浜浦佳子への中傷など、議事とは関係ない話を一方的にまくしたてた。

「柏原新聞」という新聞

彼がこんな発言をする理由は何か。第一に、岡本市長との関



場をわきまえない品のない発言で、参加者をあきさせたのは柏原新聞社オーナーのU氏だった

位の建設的な議論のできる議会への改革が必要だ。

浜浦議員が、なぜ市長お

よび幹部職員の給与削減がされないのかと質したところ、岡本市長は、わざわざ前

係だ。岡本市長自らもU氏

のことを「数十年来の友人」と語っている通り、柏原新聞は一貫して岡本市政を擁護、その親密ぶりは紙面によく表れている。

平成二十年の談合事件で

市役所にも捜査の手が入った。市長以下、監督不行き届きで道義的責任があると言われたが、柏原新聞は一行

その一方、岡本市政の疑

市長時代にまでさかのぼって、合計十数万円下がったことを繰り返して強調した。

そして、「私は歳費ゼロでもいいんだ。ただし! 議員の皆さんも同じだけ下げの覚悟があるのなら」とけんか腰の答弁。

深刻な柏原市の財政を真剣に論じている場で、自分が批判されると感情的になり相手をやりこめて満足している市長では困る。

必要なのは市民のための真剣な議論

また浜浦議員は、二元代表制(memo欄参照)や議会内閣制にも触れ「市民の声を細かく聞くためにも、議員定数の削減はせず、むしろ増やしてもよい。ただし、議員報酬は大幅に削減して財政の負担は軽減する」という趣旨の発言をした。

これに対して岡本市長は「大変良い意見だ。議員定数を五十にしよう、六十にしよう」と議員提案してくださ

首を取ったように事実無根の記事を書くかも知れないが、これはいつもの手。岡本市長と柏原新聞の「あうんの呼吸」は実にお見事だ。

中司氏のことではいつも感情的に

最後に浜浦議員は、「戦略会議議長」として岡本市長の独断で採用された中司氏について発言した。

談合事件で一審有罪判決を受けている人物を、市民の貴重な税金をつかって市に雇い入れたことは市民の理解を得られていない。もし二審も有罪なら中司氏が辞めるのは当然だが、責任をとって「岡本市長もお辞めになるべきだ」と意見を述べて発言を終えた。

濱浦議員は「答弁はけっこうです」言ったにもかかわらず、岡本市長は感情的になつて議長に発言を求め、「あんたよりはね、中司氏は市のために、どれほど役に立っているか。いや『役に立っている』というのも失礼。『市のために仕事をしていたら』という」

三月の議会でも橋本議員に「(中司氏の給与は)おまえより安い。おまえが辞めたらええんや」と暴言。岡本市長、この件ではいつも感情的になる。何か負い目でもあるのだろうか。

【二元代表制】 国政の場合、国会議員は国民の選挙によって直接選ばれ、行政の長である総理大臣は国会議員による間接選挙による。しかし地方自治体では、首長も議員もそれぞれ住民が選ぶシステムになっており、これを二元代表制という。

権力が大きい首長(行政)の、市民を無視した暴走を防ぐためにも、議会は行政をチェックする機能を果たさなければならない。しかし、現実はまだ追認するだけの存在になっているとして議会改革を叫ぶ声は多い。財政逼迫などにより様々な痛みを強いられる住民からすれば、税金のムダ使いを防ぐ機能を果たしていないことへの不信感や怒りは当然といえ、二元代表制に問題があるとする人さえいる。橋下徹・大阪府知事は二元代表制に代わる「議会内閣制」を提案している。

かしわら 単語帳

いまの柏原を知るためのキーワードを毎回解説します。

なかよし【仲よし】

人間にとって大切なこと。でも公私混同、私利私欲が絡むと迷惑千万。



どこかの市長さんは、たとえ不法投棄や業務放棄をした悪徳業者であっても、数十年来の友人の同族業者を市の入札に指名しました。同じく、市長の数十年来の友人という新聞社のオーナーは、市長に噛みつく者を徹底して叩きます。ああ、美しい友情です。でも、その陰で苦しんでいる人たちが多いことを忘れないで。